

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年12月4日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年12月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【Yゾーンに設定されているH9タンクエリアでのGゾーン靴立ち入りについて】 エコー委員会に「当社社員が、Yゾーンに設定されているH9タンクエリアの堰内にGゾーン靴にて立ち入り、作業していた。」との投書があった。 当該社員に再確認したところ、H9タンクエリアはGゾーンからYゾーンに順次変更されており、作業した場所がYゾーンに変更されたことに気付かず、作業後、退域したとのこと。 今後、再発防止対策を検討。	G II	12月1日
2	【サブドレン集水設備 No. 7集水タンク地下水ドレン入口遮断弁のシート漏えいについて】 サブドレン集水設備No. 7集水タンク水位が、受け入れをしていない状態で、1日当たり約6mm上昇していることを水位監視中の当直員が確認した。 調査のため地下水ドレン入口遮断弁の前弁を「全閉」にしたところ、水位上昇が停止したことから地下水ドレン入口遮断弁からのシート漏えいと判断。 今後、点検・修理予定。	G III	12月2日